

2016 年 7 月 29 日

新型三相 25kW パワーコンディショナ受注開始のお知らせ

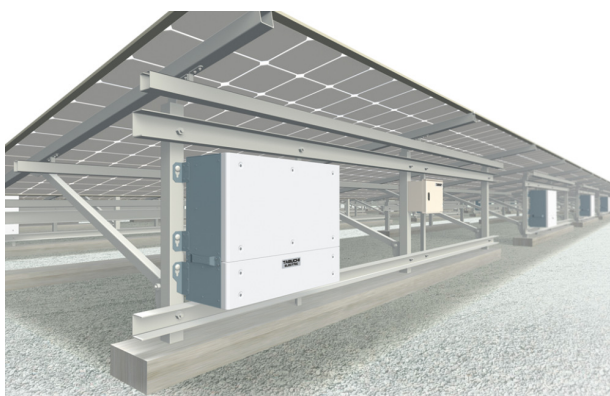
～最大入力電圧 DC1000V 対応で日・米・タイ向けに同時発売～

田淵電機株式会社（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長：貝方士利浩、以下当社）は、本日 7 月 29 より、新型三相 25kW パワーコンディショナ（EPD-T250P6/TPD-T250P6-US/TPW-T250P6-TH）の受注を開始いたしましたので、お知らせいたします。

中・大規模太陽光発電所向けの主力製品である三相 25kW モデルにおいて、世界標準対応を図ることによりグローバル市場への拡販を狙いとしております。日本、米国、カナダおよびタイ国市場向けの受注を開始し、本年 10 月より出荷を開始いたします。

本製品は、「フル MPPT™入力方式」でストリング毎に MPPT 制御を行い、発電量を高める特徴を有するほか、最大入力電圧を DC1000V とすることで、太陽電池パネルの接続上限枚数を増やすことも可能となり、パネル設計の自由度の向上に貢献いたします。さらに本体と配線箱の分割構造により施工性の向上を実現いたしました。

中・大規模市場向けに小型パワーコンディショナによる分散型太陽光発電システムを提案している当社では、本製品に引き続き、今秋には三相 33kW モデルの受注を開始する予定です。今後も小型パワーコンディショナの大容量化を進め、製品ラインナップの拡充を進めてまいります。



<新型三相 25kW パワーコンディショナ（EPD-T250P6/TPD-T250P6-US/TPW-T250P6-TH）の特徴>

- ・従来モデルより小型軽量化（※）を実現 ※質量-12kg (81kg⇒69kg)
- ・「フル MPPT™入力方式」により発電量を向上させ、複数の異なるメーカーの太陽電池パネルが接続可能
- ・本体と配線箱の上下分割構造により、配線箱へのアクセスのみで容易な施工が可能
- ・直流入力電圧 1000V 仕様により、パネル設計の柔軟性の向上に貢献
- ・マスターボックス（EQU-A-MBX03-L）によるパワーコンディショナの多数台一括制御が可能